

令和7年度上越市立吉川小学校第1回学校運営協議会 議事録

- 1 日時 令和7年5月16日(金) 14:20~15:20
- 2 会場 吉川小学校 学習室1
- 3 出席者 細井一貞(会長)、村松直子、太田洋美、市村雅幸、重原節子、石野昭一、五十嵐一美、長谷川和彦(校長)、横山毅彦(教頭・事務局) 9名

4 協議内容

(1) 令和7年度の吉川小学校の基本方針等について

- ①学校経営方針 ②グランドデザイン ③校時表 ④学校行事予定
- ⑤学校評価(学校関係者評価) / 夢・志チャレンジスクール事業

(2) 意見交換

○通知表が2期制になると3学期制はどうなるのか。通知表の2期制のメリットは何か。

→3学期制は変わらないが、通知表だけ前期と後期の2回だけにするというもの。メリットは、子どもの姿を教師が長いスパンで見えて評価できること、学期末の慌ただしさが軽減され、落ち着いて学習指導ができることである。

○働き方改革としてどんな取組をしているのか。

→課外活動をなくしたり、校時表を見直したりして、放課後の教材研究や学級事務の時間を確保している。また、学校行事を精選したり、半日開催にしたりして負担を軽減している。

○部活動が廃止になり、陸上大会などの対外行事もなくなっているが、子どもたちにはどのように対応しているか。

→幼年野球やサッカー、バレーボールなどの社会体育のチームがある。青少年育成会議のイベントもあるので、ポスターを掲示したりチラシを置いたりして子どもたちに紹介するようにしている。学校では、体育の授業を充実したり、楽しく遊べるように環境整備に努めたりしている。仲間と一緒に遊ぶ休み時間は、子どもたちにとって貴重な時間と捉えている。

○立川市で大人2人が侵入して、教師を暴行する事件があったが、児童の命や安全を守るために、安全対策はどうなっているか。

→登校の際は、校長が児童玄関を解錠し、児童の登校の様子を見守っている。下校時は、級外職員がバス当番を担当し、児童の安全な下校を見守っている。職員で情報共有したり、研修したりしながら危機管理意識を高めている。

○職員の相談体制はどうなっているか。

→管理職が相談に乗って一緒に対応策を考えている。相談しやすい雰囲気づくりに努めている。

○確かな学力を付けるためには、「書く力」と「話す力」はもちろん大事だが、「読む力」も大切である。朝学習の時間を利用して朝読書をしたり、メディアセーブ週間に家庭読書を行ったり、バス待ちの時間を利用して読書をしたりと、「読む力」を付けるための方策も考えてほしい。

→ご意見を基に職員と検討していきたい。

○PTAの奉仕作業は学校の呼び掛けによるものか、PTAが主体になって取り組んでいるものか。奉仕作業だけでなく楽しいイベントもあるとよい。

→奉仕作業は学校からの呼び掛けによるものである。PTAの協力があり、大変助かっている。

○タブレットが一人一台配備されているが、eスポーツをやっている子はいらぬのか。

→プログラミングを習っている子はいらぬが、eスポーツをやっている子はいらぬ。